

授業科目	ボランティア概論				実務家教員担当科目	○					
単位	1.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期				
担当教員	今村 浩司										
授業概要	<p>現代社会においては、「ボランティア」という言葉が多岐に渡って使用されています。「ボランティア」は多種多様な活動があり、そしてその組織も多く存在します。</p> <p>本講義では、ボランティアの理論や実践について学びを深めるとともに、自らボランティアに参加したりすることにより、自分自身の社会的有効性や存在価値を見出し、豊かな人生を目指すことを目的としています。</p> <p>講義内容は、実務家教員（ボランティアや地域貢献活動の実践経験を有する）が、可能な限りよりリアルに具体的ボランティアや地域貢献活動の現状を、興味深く展開させていきます。</p> <p>その後に社会の中で実際にボランティアや地域貢献活動を実践している6名の方をゲストスピーカー（外部講師）として招聘し、さまざまな角度からのリアリティーにあふれる具体的な講義を展開し、その現状と魅力を伝えていきます。</p> <p>なお、授業の運営方法については、対面講義が困難な場合等は、ウェブ等を使用しての講義等に変更して実施することもあります。</p>										
授業形態	講義	授業方 法									
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>1、ボランティア活動や地域貢献活動等の理念、役割を説明できる。</p> <p>2、社会の中でのボランティア活動や、地域貢献活動等の関係性を説明できる。</p> <p>3、社会の中での多様な課題と、地域社会に貢献する必要性を説明できる。</p>										
理想的 レベル	<p>1、ボランティア活動や地域貢献活動等の理念、役割を理解したうえで説明できる。</p> <p>2、社会の中でのボランティア活動や、地域貢献活動等の関係性を理解したうえで説明できる。</p> <p>3、社会の中での多様な課題を理解したうえで、地域社会に貢献する必要性を説明できる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト											
レポート	50%										
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物	40%										
その他	10%										
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリン グ	NU10604J WE10604J NT10604J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
新聞や情報誌等で、ボランティアや社会貢献活動に関する記事等を確認する。										4	

授業計画	
第1回	「ボランティア概論とは」 ボランティアの活動の理念、役割、基本的性格、定義について解説する。また、歴史的背景も解説し、現状と課題について理解を深める。さらに社会貢献活動についても解説する。 履修についてのルールや、レポート、評価方法についても説明する。
第2回	「社会福祉領域におけるボランティア1」 社会的支援の必要な子どもたちに対してのボランティアや地域貢献活動を解説する。(外部講師)
第3回	「北九州市のボランティア事情」 私たちの街、北九州におけるさまざまなボランティアや地域貢献活動についての、現在過去未来を解説する。(外部講師)
第4回	「社会福祉領域におけるボランティア2」 障害者や高齢者、ホームレスや刑務所出所者などの、社会的支援の必要な方々に対してのボランティアや地域貢献活動を解説する。(外部講師)
第5回	「災害時におけるボランティア」 さまざまな自然災害の特徴と、それらの災害を対象としたボランティアに求められる知識や技術を解説する。(外部講師)
第6回	「社会貢献や地域連携におけるボランティア」 NPOやNGOの概念や現状を理解し、その活動内容や役割、地域社会から求められているニーズを解説する。(外部講師)
第7回	「国際ボランティア」 海外のボランティアの事情や、海外で活動するボランティアを紹介し、その現状や課題を解説する。(外部講師)
第8回	「総まとめ」 ボランティアや地域貢献の課題と今後の展望について解説し、総まとめを行う。
テキスト	特に設定はしません。毎回レジュメや関連資料を配布します。
参考図書・教材 /データベース・ 雑誌等の 紹介	講義中に必要に応じて紹介します。 また、本学の図書館には、さまざまな「ボランティア」「社会貢献」「地域貢献」「NPO」「NGO」等に関する本がありますので、最低3冊は読むように心がけてください。
課題に対するフィードバックの方法	外部講師から事前に資料などを提示してもらいます。場合によっては課題が出される場合があります。その課題については、講義当日に外部講師より講義中にフィードバックして頂きます。
学生へのメッセージ	新聞やテレビ、情報誌等々を通して、社会情勢や地域の課題について関心を持つように心がけてください。

ジ・コメント

大学や地域の身近なところで活動している団体についての、情報提供を行います。ウェブサイト等で調べてください。

また、活動している団体の研修会や活動についても情報提供を行いますので、可能ならば参加してみてください。

外部講師の先生方のご都合で、シラバスの予定から変更になる場合もあります。

参考までに、今までのお越し頂いた一例です。「子ども食堂」「フードドライブ」「小倉城竹あかり」「ドッグセラピー」「学生カフェ」「ロシナンテス（主としてアフリカでの医療活動など）」「北九州魚部」等です。今年度に関しては、初講の時にお知らせします。